

令和4年度「蔵前小学校 授業改善推進プラン」

調査概要 【台東区総合学力調査】
 調査対象 台東区蔵前小学校 第4学年
 実施日 令和4年4月18日
 実施教科 第4学年 国語

第4学年 国語

1 結果の分析

(1)結果の概要

| 分類 | 区分 | 平均正答率(%) | | | |
|-------|---------------|----------|------|------|------|
| | | 本校 | 目標値 | 区 | 全国 |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 78.1 | 68.6 | 73.8 | 70.1 |
| | 思考・判断・表現 | 72.9 | 62.0 | 66.0 | 61.4 |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | 76.8 | 62.0 | 65.5 | 59.1 |

○全体的な状況の説明

◇評価の観点から

全ての観点において、目標値・区平均・全国平均を4.3%~17.7%の幅で上回っており、どの観点もバランスよく目標値に到達している。

◇正答率度数分布グラフから

正答率が70%以上の児童が、全体の74.8%を占めている。しかし一方で、正答率が40%以下の児童が若干名おり、個別に支援をしていく必要がある。

(2)結果から明らかになった課題

| 国語 | 個別の状況(課題) | 解決すべき課題 |
|----|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・「主語と述語の関係についての理解」が、目標値よりも、わずか3%しか上回っていなかった。 ○思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・「場面の様子について、叙述を基に捉えている」が、目標値よりも5%下回った。 ○主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・記述式の問題に対し、平均正答率は目標値や区平均を上回っていたものの、無回答の児童が、問題によって4.5%から11.7%いた。 | <ul style="list-style-type: none"> →主語と述語の関係、特に述語の意味や文中から主語と述語を見つける力に課題がある。 →段落の役割について理解し、段落と段落のつながりや、「初め・中・終わり」等の段落相互の関係を読み取る力に課題がある。 →どんな課題に対しても、最後まで粘り強く取り組めるようにするための配慮が必要な児童がいる。 |

2 改善策

(1)具体的な改善策

| | |
|----|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ○知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・主語、述語の意味や関係についての指導を改めて行い、定着を図る。 ・授業の中で積極的に辞典を活用したり、反復練習により漢字を定着させたりするなど、基礎・基本を大切にしていく。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・「初め・中・終わり」の組み立てを意識しながら文章を作っていくよう、ワークシートを活用したり、段落ごとの組み立てを例示したりしていく。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・児童の初発の感想を大切に、そこから分析できる児童の興味・関心・疑問等を基にした学習課題を設定することで、児童の「主体的に学ぶ姿」を育てていく。 |

(2)改善策(手だて)に対する検証

○単元ごとのワークシートや、プリント、児童の発言等から、上記改善策における成果と課題を分析する。